

指定緊急作業等従事者等に係る線量等管理実施状況報告書

フリガナ			生年月日	年 月 日		個人番号				
氏 名			性 別	男 ・ 女		指定緊急作業等 従事以前の累積 被ばく線量				
住 所	電話 ()									
指定緊急作業等時の 所属事業場の名称										
指定緊急作業等時の 所属事業場の所在地	電話 ()									
現在の所属事業場 の 名 称										
現在の所属事業場 の 所 在 地	電話 ()									
対象期間	年 月 分			通常作業・緊急作 業 の 区 別		通常作業 ・ 緊急作業				
対 象 月 分 累 積 線 量	外 部 被 ば く 実 効 線 量			(mSv)		作 業 の 場 所				
	眼の水晶体の 等 価 線 量			(mSv)						
	皮 膚 の 等 価 線 量			(mSv)						
内 部 被 ば く 測 定 結 果	預 託 線 量			(mSv)					作 業 の 内 容	
	測 定 日									
	撮 取 日									
主要核種ごと の 測 定 値	核 種			(Bq)						
	測定値									
	核 種									
	測定値									
	核 種			(Bq)						
	測定値									

備考

- 1 外国人の場合、「氏名」の欄は、漢字表記を持たない外国人の場合はローマ字表記で記入するとともに、「住所」の欄には、現住所のほか、母国における住所及び国籍を記入すること。
- 2 「個人番号」の欄は、事業者が指定緊急作業等従事者等の線量等の管理を行うため、これらの者に対し、個人を識別するために番号を付与した場合に記入すること。
- 3 「住所」、「指定緊急作業等時の所属事業場の名称」、「指定緊急作業等時の所属事業場の所在地」、「現在の所属事業場の名称」及び「現在の所属事業場の所在地」の欄は、前回の報告から変更があった場合に記入すること。
- 4 「対象期間」の欄は、指定緊急作業等従事者等が、
 - (1) 緊急作業に従事する間は、1 か月分を対象期間とすること。（提出は、当該対象期間とする月の翌々月末日まで）
 - (2) 放射線業務（緊急作業を除く。）に従事する間は、3 か月分を対象期間とし、「月分」の欄に、その期間が分かるよう記入すること。（提出は、当該対象期間の満了の月の翌々月末日まで）
- 5 「作業の場所」及び「作業の内容」の欄は、指定緊急作業等従事者等が、
 - (1) 緊急作業に従事する間は、当該作業に従事した場所及び作業の内容を記入すること。
 - (2) 放射線業務（緊急作業を除く。）に従事する間は、「作業の場所」の欄に、当該作業に従事した原子力施設等の名称を記入すること。
- 6 外部被ばくの実効線量の日々の値を把握している場合には、報告対象月分の1日ごとの被ばく線量について、測定開始日時、測定終了日時及びその間の実効線量の一覧を添付すること。